

資生堂、台湾で販売 50 年

資生堂は 2007 年、1957 年の台湾での販売開始から国際事業 50 年を迎えます。台湾は資生堂が海外販売拠点として本格的に歩みだした第一歩でもあり、現在世界 67 の国と地域（日本を除く）に及ぶ国際事業展開の礎になったものです。これまでの台湾での 50 年間の歩みを振り返るとともに、これからの更なる飛躍を誓い、台北にて 3 月 2 日午後 2 時より記念式典を行います。

台湾資生堂の沿革

台湾資生堂は 1957 年、資生堂福岡支社（現福岡支店）に勤務していたことのある李進枝（り・しんし）氏と弟である李阿青（り・あせい）氏によって設立され、1983 年から株式会社資生堂との合併会社となりました。また、1980 年には中壢（ちゅうれき）工場が、1998 年には新竹工場が稼働し、販売だけでなく生産拠点としても発展するに至っています。

台湾資生堂では創業以来の社是である「美化人生」の精神に基づき、SHISEIDO グループブランド製品を、デパート、チェインストアなどを通じて販売し、台湾のお客さまの美と健康に貢献してきました。台湾での「SHISEIDO」ブランドは、ナンバーワン化粧品として幅広く認知され、お客さまのあこがれのブランドとしての地位を確立しております。

資生堂の国際事業の沿革

1957 年、台湾での販売開始でスタートした資生堂の国際事業は、1962 年にハワイ、香港、1965 年にアメリカ本土、1968 年にイタリア、1970 年にシンガポール、1971 年にニュージーランドと順次拡大しました。現在ではアジア・オセアニアで 16 の国と地域、ヨーロッパ及び中近東 47 カ国、北南米 4 カ国の計 67 の国と地域で販売し、2007 年 3 月決算期の資生堂グループでの海外売上比率は 30%を超える勢いで、この比率を更に高めてゆく計画です。

今後の事業展開として各国の共通戦略は成長性の維持と収益性の強化です。成長の牽引役となるアジア地区の伸長率は現在そして将来においても高く、重要な役割を占めます。また、欧州ではすでに強い基盤を築いているドイツやイタリアを中心に安定的な成長を確保し、米州でも収益性を高めるための体制を着実に整えてまいります。資生堂は、マーケティングポリシーであるハイクオリティ、ハイイメージとハイサービスで全世界のお客さまから愛される商品をお届けすることを目指し、グローバル企業の一員として成長を続けて参ります。

台湾資生堂創立 50 周年記念式典概要

台湾資生堂はこの 2007 年を、これまでの 50 年間の歩みを振り返り、これからの台湾資生堂の更なる飛躍を誓う年と位置づけ、お客さまとのコミュニケーション拡大を軸にさまざまな活動を行っていきます。そのスタートとして 3 月 2 日に台湾の「台北晶華酒店(グランドフォルモサ・リージェントホテル)」で 50 周年記念式典を開催します。会場では、事業開始からの歴史を 4 つの時代に区切り、それぞれの時代ごとのポスターパネルや商品展示をするほか、マキアージュのモデルを務め、台湾でも絶大な人気の伊東美咲さんをスペシャルゲストとして迎えファッション&トークショーを開催します。当式典には台湾各界からの来賓及び、株式会社資生堂より前田代表取締役社長、国際事業担当のフィッシャー執行役員常務ほかが参加します。

【ご参考】

社名:台湾資生堂股份有限公司(Taiwan Shiseido Co., Ltd.)

所在地:台北市寶慶路 37 号 3 楼(3F, 37, Bao-Ching Road, Taipei, Taiwan)

資本金:11 億 5459 万元(約 36 億 9500 万円)

董事長:李 國祥(リ・こくしょう)

従業員数:438 名(2006 年 12 月末現在)